

1 求める提案・分野

- ・ 本市の中心市街地（特にオリオン通り商店街周辺）における賑わいと美化を両立するためのIoTを活用した環境美化対策についての提案
- ・ ごみの回収，ポイ捨ての防止に留まらず，先進技術を用いた市民・ 来訪者の行動変容やマナー向上を促進する取組についての提案

分野（あてはまるもの全てに☑）

- ☐ I. 子育て・教育・学習
- ☐ II. 健康・福祉・医療
- ☒ III. 安心・協働・共生
- ☒ IV. 魅力・交流・文化
- ☒ V. 産業・環境
- ☒ VI. 都市空間・交通

2 現状・課題

- ・ オリオン通り周辺をはじめとする中心市街地は、宇都宮を代表する繁華街・賑わいの拠点であり、餃子やカクテル、ジャズといった文化に加え、「宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」や「3 X 3」などのスポーツイベントが多数開催され、市内外から多くの方が訪れている。
- ・ 人の往来の増加に伴い、路上等におけるたばこやペットボトル、空き缶等のごみのポイ捨てが目立つようになっている。
- ・ 「人の手による清掃」や「看板による啓発」といった従来の手法に加え、**中心市街地の環境美化に向けた実効性が高く持続可能な仕組みの構築が必要**である。

3 今後の展望（ステップ） → ゴール

- （令和8年度） 意見交換・内容審査→実証実験開始
採択事業者と市による意見交換などを行い、先進技術を活用した環境美化対策の準備を進め、実証実験を開始する。
- （令和9年度～） 実証実験・制度設計→予算化
実証実験により、データの収集や課題の抽出、効果の検証を行うとともに、本格導入に向けた制度設計（実施主体や他の取組との連携など）を検討する。

ゴール：中心市街地における持続可能な環境美化の仕組みの本格実装

6 求める提案イメージ

来街者の増加に伴う、ごみのポイ捨て等の削減に向け、先進技術や行動変容アプローチなどを活用した効率的で持続可能な環境美化に繋がるスキーム構築

(例1) 先進技術を活用した
ごみ蓄積状況の把握や回収業務の効率化

 IoTセンサー搭載ごみ箱による
ごみ蓄積状況の遠隔監視やデータに
基づく最適回収手法の構築、景観に
配慮したごみ箱の設置・運用

 実証ポイント

- ✓ ごみ蓄積状況を遠隔かつリアルタイムで把握することで溢れの防止に寄与するか
- ✓ 遠隔監視機能などにより、回収業務の省力化・運用コスト削減を図れるか

(例2) 来街者のマナー向上や
行動変容を促す仕組みの提案

 思わず捨てたくなる仕掛けや、
マナー意識が高まるナッジ等の行動
科学アプローチ

 実証ポイント

- ✓ ナッジ等の仕掛けにより、ポイ捨ての削減効果などが得られるか
- ✓ 来街者が楽しみながら自発的な美化行動を起こす行動変容を促せるか
- ✓ 夜間やイベントなどの混雑時でも継続して効果が得られるか

(例3) 将来の美化対策に向け
市既存事業と連携可能な提案

 ごみ発生データ等を可視化する
ことなどで、より効率的な巡回指導
や夜間巡回につながる提案

 実証ポイント

- ✓ ポイ捨ての実態データなどを可視化し、将来の美化対策や都市管理のエビデンスにできるか
- ✓ 人力だけに頼らない持続可能で費用対効果の高い美化モデルを確立できるか